

# 令和2年度 夢風船 事業報告書

## 1 総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた一年であった。年度当初は利用を自粛する利用者も多く、一日平均利用者数は20名程度まで減少した（令和元年度実績23.71人）。利用実績は6月以降徐々に回復したが、1月に感染の再拡大、緊急事態宣言に伴いまた減少となり、入所施設から通所していた利用者1名は一年間全く通所できない事態となってしまった。活動においては、音楽活動、プール、余暇支援のカラオケ等を中止としたが、感染のリスクの少ない公園等への外出の機会を多く持ったほか、旅行を実施できたのは、利用者のストレス軽減に大きな効果があったといえる。感染対策を実施し、利用者に感染者を出さずに、一年間通常に近い形で毎日開所できたのは評価できるが、感染予防と生活支援の両立に非常に苦慮した一年であった。様々な制約があり、外出や新しい取り組みが困難な状況ではあったが、利用者の主体性の向上、安全確保、生活全般の支援、健康管理の重点課題について継続して取り組み、概ね実施できたと考える。

## 2 事業概要

- 1) 事業所名 : 夢風船
- 2) 事業種別 : 生活介護
- 3) 所在地 : 東京都小平市小川町2-1931-1
- 4) 経営主体 : 社会福祉法人未来
- 5) 利用定員 : 20名
- 6) 利用現員 : 29名（令和3年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 : 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 : 平成26年11月1日
- 9) 職員（令和3年3月31日現在）
  - 管理者 1名
  - サービス管理責任者 1名（常勤換算1.0）
  - 生活支援員 19名（常勤換算15.4）
  - 看護職 2名（常勤換算1.9）
  - 嘱託医 1名

## 3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現の支援。
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
- 3) 安心と希望の持てる生活。

## 4 基本方針

- 1) 日中活動の保障
- 2) 豊かな生活の支援
- 3) 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- 4) 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- 5) 利用者への相談支援
- 6) 安心できる将来への支援

## 5 実施事業（活動内容）

- 1) 就労支援事業
  - ① 資源回収作業
  - ② 弁当箱配達回収作業
  - ③ 公園及びマンション清掃受託作業
  - ④ シュレッダー作業
  - ⑤ PC入力作業
  - ⑥ 折鶴製品作成事業
  - ⑦ その他受注作業
- 2) 生活支援事業
  - ① 入浴（毎日）
  - ② 運動プログラム（水泳・ウォーキング）
  - ③ バイタルチェック（朝・入浴前）
  - ④ 音楽活動（月2回）
  - ⑤ 余暇支援事業
- 3) 行事等
  - 4月 ドライブ（野山北公園）
  - 5月 還暦を祝う会
  - 6月 遠足（東村山中央公園）・アイスクリーム作り
  - 7月 夏祭り
  - 8月 川遊び
  - 9月 遠足（小金井公園）
  - 10月 ドライブ・さつま芋調理
  - 11月 旅行（埼玉県）
  - 12月 忘年会
  - 1月 初詣
  - 2月 遠足（東村山中央公園）
  - 3月 食事会（ハンバーク弁当）・ドライブ（多摩湖）

## 6 日 課

|                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| 開所・送迎                                | 8:30～9:30   |
| バイタルチェック                             | 9:00～9:30   |
| 朝礼                                   | 9:30～9:40   |
| 出席確認・連絡事項・活動の確認                      |             |
| 活動                                   | 9:40～11:30  |
| 作業（資源回収作業／弁当箱配達回収作業／清掃作業／PC作業、室内軽作業） |             |
| 運動プログラム・・・水泳、ウォーキング                  |             |
| 入浴                                   |             |
| 昼食・休憩                                | 11:30～13:30 |
| 昼礼                                   | 13:30～13:35 |
| 連絡事項・活動の確認                           |             |
| 活動                                   | 13:35～15:50 |
| 作業（資源回収作業／弁当箱回収作業／清掃作業／PC作業、室内軽作業）   |             |
| 運動プログラム・・・水泳、ウォーキング                  |             |
| 入浴                                   |             |
| 終礼                                   | 15:50～16:00 |
| 送迎・清掃                                | 16:00～17:10 |

7 重点課題・目標に対する成果と課題

1) 活動

1 F—

(1) 利用者の主体性の向上に向けた活動

朝礼等の司会の他、利用者が参加する場面を設ける。(行事の企画、日々の活動内容の決定、新たな活動や作業の開拓など) また、自ら考える場面を増やし、活動に向けた意欲と主体性の向上を図る。

【成果と課題】

朝礼の司会の当番制や利用者自らの予定の報告等は、これまで継続して行っており、定着している。また、活動に対して自分の考えや希望を伝えることも、多くの利用者が行えるようになってきている。行事の企画や日々の活動の内容の決定については、時間的制約等があり、実施できなかった。

2 F—

(1) 利用者の安全確保

利用者個々の特性を理解のうえ、見守りの強化や精神的な安定に向けた環境設定やコミュニケーションにより、離接や他害行動、自傷行為などの防止を徹底する。

【成果と課題】

他害、離接等は継続して発生しているが、全般的に利用開始時より減少している。本人の状況理解や周囲との関係性の構築が進んだことが大きな原因と考えている。不安等の解消による本人の安定化を基本的な方針とし、効果が出ていることもあるが、原因が不明なことも多く、事前防止や不安定時の見守り、付き添いが重要となっている。利用者別に他害や離接等の記録・分析を行い、発生しやすい時期や時間帯、環境等を確認し、事前防止策や原因の解消に役立てたが、根本的な対策が取りにくいものもあり(天候による不安、不安感の原因がわかりにくいなど)、更なる検証が必要である。

1・2 F 共通—

(1) 利用者の生活全般にわたる支援の充実。

本人や家族の高齢化等による生活基盤が脆弱化しつつある利用者に対して、相談支援の充実、衛生保持、健康管理、日常の軽微な事柄への支援、専門機関への連絡調整、将来の居住環境整備に向けた準備など幅広く柔軟な支援を行う。

【成果と課題】

緊急時の4時以降の延長支援などニーズに対して柔軟な対応を行ったほか、2名については後見人との連携による支援を行った。また、グループホーム入居希望者3名について関係機関と連携し、令和2年度、及び3年度の入居の内定に結びつけた。

(2) 各利用者の可能性の発見と伸長にむけた活動(作業)の開拓と支援

活動や生活場面において、様々な経験を通して能力や興味関心の発見とその伸長を目指すことで、一人ひとりがやりがいをもって生活できるように支援を行う。

【成果と課題】

作業の継続により、流れを理解し、自発的に作業に取り組むことは全般的に定着している。多くの利用者に継続力や集中力の向上が見られるほか、仲間やルールを意識した行動を取れ

る利用者も増えてきている。また、身辺自立や活動の幅を広げる取り組み、身体機能の維持向上など職員の発想や工夫によって一人ひとりの状況に合わせた個別の支援プログラムが新たに考案実施できた。コロナウィルス感染防止の為の活動縮小もあり、外部からの新規作業開拓や法人HPの更新作業の定期受注には至らなかった。

(3) 健康管理の充実

一人ひとりの健康管理や衛生保持、また身体機能の維持向上を丁寧に行うとともに、疾病、けが等への迅速な対応を行う。

【成果と課題】

新型コロナウイルス感染症対策については毎日のバイタルチェック、手洗い、消毒、換気、マスクの着用等を履行し、利用者の感染を防ぐことができた。ただし、マスクの着用が困難な利用者も多く、今後の課題となっている。その他感染症対策として、職員及び利用者インフルエンザ予防接種を実施し、インフルエンザの罹患者はいなかった。また、入浴時の身体チェックによる健康管理や身体機能維持のためのリハビリ、また肥満防止、健康保持のためのウォーキングや腹筋運動等を継続的に実施した。肥満については1名を除き、体重減少は見られていないが、増加は防止できている。年間の体重と血圧の変動のグラフを各利用者に配布した。

2) 人材育成

(1) 副施設長

- ① 事業全般の把握と判断力、緻密性の向上
- ② 法制度の知識向上
- ③ 職員行動観察による適性や能力の把握とその活用のための手法の獲得
- ④ 地域の状況把握とネットワーク強化
- ⑤ 指定変更届出、補助金申請等の書類作成技術向上
- ⑥ 業務全般のスキル向上（報告の正確性向上・合意形成の手法獲得等）

【成果と課題】

一般的にスキルの向上が見られた。報告や伝達の正確性の向上が課題である。

(2) 主任

- ① 事業全般の把握
- ② 法制度の知識向上
- ③ 労務管理業務の把握
- ④ 職員行動観察による適性や能力の把握とその活用のための手法の獲得
- ⑤ 会計知識の向上

【成果と課題】

一般的にスキルの向上が見られた。事業全般の把握が課題である。

(2) 生活支援員

- ① リーダー職及びその候補者の育成
- ② 相談支援のスキル向上
- ③ 業務標準化の実施
- ④ 職員間の連携強化（より良い支援の為の協力関係・相互干渉・情報共有・意見交換等）
- ⑤ 介護福祉士などの資格取得や強度行動障害支援者養成講座受講などにより専門性の向上
- ⑥ 福祉制度や歴史、会計知識の向上

### 【成果と課題】

- ① サブリーダーを2名配置し、育成が進んだ。
- ② 職員間の差はあるものの、日々の相談を通じ、課題把握の力や解決力は全般的に向上が見られた。
- ③ リーダー職による指導やミーティングでの情報共有等により、標準化は少しずつ進んだ。
- ④ 業務中、またミーティング等で情報共有や意見交換が丁寧に行われたほか、グループリーダー等による打ち合わせも密に実施しており、連携の取れた支援が行われた。
- ⑤ 2名の強度行動障害者支援者養成研修受講申し込みを行ったが、選抜されなかった。
- ⑥ 外部研修等への参加は実施していない。6月に社会福祉法人未来の歴史を通じて福祉制度の変遷について全職員を対象に学習会を実施した。また、2月に虐待防止に関する研修（自己点検シートを用いた演習）を全職員に行った。

### 3) 経営管理

#### (1) 介護給付費の安定確保

- ① 1日平均利用者24.0人（29人在籍利用率83%）を目標とし、利用者の安定通所を図る。（令和元年度実績23.78人、82.0%—令和2年1月末現在。）  
（具体的方策）
  - ・送迎場所や時間など柔軟な対応を行う。
  - ・健康状態の確認など家庭やグループホームとの連絡調整を密に行う。
- ② 職員配置数を維持し重度障害者支援加算の算定を継続する。
- ③ 介護福祉士などの資格取得により福祉職員専門配置加算のランクアップを図る。

### 【成果と課題】

- ① コロナウィルス感染症拡大の影響で利用実績が減少し、1日平均利用者数は22.4名となり、目標に達しなかった。しかし、在宅支援の実施や重度障害者支援加算の対象を広げたことで、給付費収入は昨年度比約400万円増の約1億800万円となった。
- ② 職員数を増やし、重度障害者支援加算の対象者を10名から15名に増やすことができた。
- ③ 新たに1名が介護福祉士の資格を取得した。

#### (2) 月次試算による状況分析

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。緊急的支出に対しては、充当資金の調達のため計画の優先順位を設定する。

### 【成果と課題】

月次試算分析により月々の経営状態の把握は丁寧に行えた。緊急的な支出も発生しておらず、計画的な予算執行が行えた。

#### (3) 節電等による経費削減

水道光熱費や消耗品など、活動に影響が出ない範囲で節約意識を共有し、経費削減に努める。

### 【成果と課題】

節電意識は徐々に改善しているもの、エアコンや灯りの消し忘れは時々見られた。また、在庫管理によって消耗品等の無駄な支出は抑えることができた。水道光熱費、消耗器具備品費は昨年度比で減少した。

## 8 その他の成果と課題

1) 施設間交流の促進とそれによる支援の充実を図るために夢の樹みどりと相互に職員を派遣し合う取り組みは、新型コロナウイルス感染症拡大に留意しながら、両施設の職員2名(計4名)が各々週1日、合計週2日のペースで実施した。

2) 昨年度迄実施してきた、療養介護施設入居者1名の月1回の受け入れは、新型コロナウイルス感染症に対する入居先の施設の方針により実施できなかった。

## 9 事故等報告

1) 7月 昼食前の薬(漢方薬)を誤って2回服用するが、健康状態に問題なし。

## 10 開所状況

1) 開所期間 自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日  
2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間  
(2) 開所時間 午前9時～午後4時  
(3) 年間延開所日数 242日間(前年度 243日)  
(4) 平均活動時間 7時間

## 11 利用状況

1) 利用者延人員 5,419人(前年度 5,738)  
2) 1日平均利用人員 22.39人(前年度 23.71人)  
3) 体験実習者延人員 6人(前年度 22人)  
4) 1日平均実習人員 0.02人(前年度 0.09人)  
5) 実習者実人員 3人(前年度 4人)

## 12 利用者状況(令和3年3月31日現在)

### 1) 年齢

|            |     |
|------------|-----|
| 20歳以上30歳未満 | 16名 |
| 30歳以上40歳未満 | 3名  |
| 40歳以上50歳未満 | 8名  |
| 50歳以上60歳未満 | 1名  |
| 60歳以上      | 1名  |

### 2) 障害の状況

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 愛の手帳1度    | 1名(内身障手帳所持 1名)  |
| 愛の手帳2度    | 21名(内身障手帳所持 3名) |
| 愛の手帳3度    | 2名(内身障手帳所持 2名)  |
| 愛の手帳4度    | 2名(内身障手帳所持 1名)  |
| 身体障害者手帳1級 | 4名(内愛の手帳所持 2名)  |
| 身体障害者手帳2級 | 5名(内愛の手帳所持 4名)  |
| 身体障害者手帳5級 | 1名(内愛の手帳所持 1名)  |

障害支援区分 平均障害支援区分 5.4(前年度 5.4)

3) 通所手段 送迎車利用 28名(内交通機関併用1名・家族送迎併用1名)

4) 居住状況 管内居住 18名 管外居住 11名

5) 性別 男性 23名 女性 6名

### 1.3 利用者工賃

平均工賃 1人 月額 : 4,433円 日給 : 285円  
(前年度1人 月額 : 4,709円 日給 : 286円)

### 1.4 余暇支援実習状況

- 参加者 実18名 延べ315人(令和元年度実績 実24名 延べ371人)
- 延実施回数:137回 (令和元年度実績160回)

| 月別実施状況 | 実施月 | 実施回数 | 延参加人数 |
|--------|-----|------|-------|
|        | 4月  | 14回  | 26人   |
|        | 5月  | 10回  | 20人   |
|        | 6月  | 13回  | 24人   |
|        | 7月  | 12回  | 26人   |
|        | 8月  | 14回  | 26人   |
|        | 9月  | 15回  | 31人   |
|        | 10月 | 10回  | 28人   |
|        | 11月 | 9回   | 24人   |
|        | 12月 | 10回  | 28人   |
|        | 1月  | 10回  | 28人   |
|        | 2月  | 10回  | 28人   |
|        | 3月  | 10回  | 26人   |
|        | 合計  | 137回 | 315人  |

| 内容別実施及び参加状況 | 内容      | 実施回数 | 延参加人数 | (令和元年度実績)   |
|-------------|---------|------|-------|-------------|
|             | カラオケ    | 0回   | 0人    | (22回 61人)   |
|             | 入浴      | 9回   | 9人    | (37回 68人)   |
|             | 散歩      | 11回  | 14人   | (3回 6人)     |
|             | ドライブ    | 45回  | 120人  | (25回 56人)   |
|             | ボウリング   | 24回  | 84人   | (22回 86人)   |
|             | 調理      | 21回  | 48人   | (13回 28人)   |
|             | 外食      | 8回   | 8人    | (13回 18人)   |
|             | 散髪      | 6回   | 19人   | (6回 18人)    |
|             | 動画鑑賞    | 2回   | 2人    | (1回 1人)     |
|             | 食事(弁当)  | 11回  | 11人   | (4回 4人)     |
|             | プール     | 0回   | 0人    | (7回 8人)     |
|             | ゲームセンター | 0回   | 0人    | (7回 17人)    |
|             | 合計      | 137回 | 315人  | (160回 371人) |

### 1.5 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

### 1.6 防災

災害時避難訓練を年2回実施した。3月に計画していた防災訓練についてはコロナウィルス感染拡大防止のため中止とした。